

イチゴのアザミウマ類、アブラムシ類やハダニ類、トマトの黄化葉巻病（タバコナジラミ）などの発生に注意しましょう！

病害虫発生予報2月号(病害虫防除所)によると、イチゴのアザミウマ類、アブラムシ類、ハダニ類がやや多く、トマトの黄化葉巻病(媒介昆虫:タバコナジラミ)の発生が多くなると予想されています。

各種害虫の早期発見に留意し、事前の予防や発生初期の防除を徹底してください。

防除のポイント

＜イチゴのアザミウマ類、ハダニ類＞

- 1) 発生を見逃さないよう、葉裏や葉柄、果梗、果蕾などを丁寧に観察して早期発見に努めてください。
- 2) 発生を確認したら、早期に薬剤防除を実施します。葉裏や下葉にもよくかかるよう、株全体に丁寧に散布します。
- 3) 薬剤散布は、葉かき後に、寄生した葉、果梗、果実等を摘み取ってから行うと効果的です。
- 4) 薬剤耐性菌や抵抗性害虫の発生を抑制するため、気門封鎖剤(粘着くん液剤など)を除く同一分類(コード)の連続散布は避けてください。

表1 イチゴ アザミウマ類、アブラムシ類の主な防除薬剤

(令和7年2月4日現在)

薬剤名	アザミウマ類	アブラムシ類	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
グレース乳剤	○		2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	—	30
サンヨール		○	500倍	収穫前日まで / 6回以内	◎	—
ディアナSC	○		2,500~5,000倍	収穫前日まで / 2回以内	3日	5
プレオフロアブル	○		1,000倍	収穫前日まで / 4回以内	1日	UN
ベネビアOD	○	○	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	—	28
モベントフロアブル	○	○	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	1日	23

注1) 表1、2のミツバチ※は、ミツバチへの影響の目安を茨城県病害虫防除指針(令和6年版)より抜粋しました。
◎は薬液が乾けば影響なし、その他は影響日数を記載しましたが、天候、施設内の環境条件(温度、換気等)により日数が前後することがあり、注意が必要です。なお、—は指針に記載なしです。

表2 イチゴ ハダニ類の主な防除薬剤

(令和7年2月4日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
コロマイト水和剤	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	1日	6
カネマイトフロアブル	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 1回	◎	20B
グレース乳剤	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	—	30
スターマイトフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	1日	25A
マイトコーネフロアブル	1,000倍	収穫前日まで / 2回以内	1日	20D
サンヨール	500倍	収穫前日まで / 6回以内	◎	—
粘着くん液剤(デンブン)	100倍	収穫前日まで / —	1日	—

注) 気門封鎖剤(粘着くん液剤など)利用の注意点: ①薬剤によりマルチの汚れや果実薬害を生じることがあるため、注意する。
②ハダニ類に直接かからないと効果がないため、株全体に丁寧に散布する。
③ハダニ類成虫には有効だが、卵には十分な効果がないので、残った卵からふ化した成虫を防除するためには、5~7日間隔で数回散布する。

＜トマトの黄化葉巻病(タバコナジラミ)＞

- 1) 発病株は見つけ次第抜き取り、適切に処分してください。
- 2) タバコナジラミの施設内への侵入および施設外への飛び出しを防ぐため、開口部に0.4mm目合い以下の防虫ネットを設置します。破損がある場合は必ず補修してください。
- 3) 黄色粘着板や黄色粘着テープを施設内や周辺部に設置し、タバコナジラミ成虫を捕殺します。
- 4) 薬剤を散布する時には、薬液が葉裏にもよくかかるよう十分な量で丁寧にいきます。
- 5) 耐病性品種も本病に感染するため、タバコナジラミの防除は感受性品種と同様に行います。

表3 トマト・ミニトマト コナジラミ類の主な防除薬剤

(令和7年2月4日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
アニキ乳剤	1,000~2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	6
グレース乳剤	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	30
コルト顆粒水和剤	4,000倍	収穫前日まで / 3回以内	9B
コロマイト乳剤	1,500倍	収穫前日まで / 2回以内	6
ディアナSC	2,500倍	収穫前日まで / 2回以内	5
モベントフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	23

注) マルハナバチへの影響の目安については、農業会社にご確認ください。

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 News は JA 全農いばらきホームページでもご覧になれます。

農機営農支援部 営農支援課 電話: 029-291-1012 FAX: 029-291-1040



ミツバチや天敵を放飼する場合は、薬剤の影響等について、メーカーや関係機関等から必ず指導を受けてください。

表1、2、3の分類欄には、IRACコードを記載しました

気門封鎖剤以外については、薬剤抵抗性の発達を抑えるため、IRACコードの異なる薬剤をローテーション散布してください。



写真上: 葉の退緑症状
写真下: タバコナジラミ類成虫(茨城県病害虫防除所)